

株式会社 全国商店街支援センター

平成25年度 THE 商人塾！事業

事業報告書（概要版）

平成26年2月

事業委託先：佐久商工会議所

目次

1. 事業目的	1
(1) 対象地域の概要と課題.....	1
(2) 目標（次世代リーダーの育成像）	2
2. 事業内容（カリキュラム：日時、テーマ、講師、出席者数、実施状況等）	2
3. まとめ	3
(1) 目標に対する成果.....	3
(2) 塾生による商店街活性化プラン.....	3
(3) 新たな課題とその対策について.....	6
(4) 今後の活動の展開.....	6
※添付資料（講義資料、メディア掲載情報、告知チラシ等）	7

1. 事業目的

(1) 対象地域の概要と課題

佐久市は長野県の東に位置し、上信越自動車道佐久 IC、長野新幹線（北陸新幹線）佐久平駅がある。

商店街は、岩村田地区、中込地区、野沢地区と離れている。

■岩村田地区

岩村田地区の中核商店街は名実ともに岩村田本町商店街振興組合（以下、本町商店街という）である。平成13年3月に策定発表された活性化構想をもとにして、着実に事業を推進、展開し、県内で唯一、空き店舗を減少させ続けていて、視察団体が毎月、数団体訪れるようになっている。

岩村田地区には、商店以外の事業所、事務所のほか、住居がある。子ども未来館などの公共施設、浅間総合病院などの医療機関、佐久市老人保健施設みすず苑といった介護施設、佐久大学、信州短期大学、岩村田高校、北佐久農業高校、佐久長聖高校、浅間中学、岩村田小学校や幼稚園といった教育機関、税務署、警察署などの公共機関もある。小海線の岩村田駅、新幹線と小海線が接続する佐久平駅もある。国道141号線は北佐久と南佐久をつなぐ幹線道路であり、中山道は道路整備が不十分とはいえ、昔も今も幹線道路として機能している。

この本町商店街に接続、あるいは隣接している西本町、相生町、稲荷町、住吉町などの商店会は、元気な商店もあるが「商店街としての存在」とはいえないのが、現状である。

また、岩村田地区としてみた場合には、佐久平駅周辺の大商業集積、佐久インターチェンジ周辺の大店、これらをつなぐ国道141号線などの幹線道路にはロードサイドショップとして大店、チェーン店が軒を連ねている。個店としての元気な飲食店、小売店はあるが、散在しているという状況であり、本町商店街以外は、商店街としての形をなしていない。

■中込地区

中込商店街は、昭和59年商店街近代化事業としてグリーンモール（歩行者専用道路）が整備されたが、自家用乗車の普及により、商店街から外れた既存駐車場はお客様に不便を強いることになる。現在、グリーンモールの一部が駐車場化された。

「ほんわ館」が平成23年10月にオープンした。主要目的は自習室・会議・サークル活動・写真展などである。自習室については、利用率が高い。

平成20年度より開催されている「もってえねえ市」、不定期開催の「うまいもん市」、などのイベントがあるが、商店街に呼び込んだお客様を個店まで引き込んでいるかは疑問である。その他に、2005年創刊の「中込商店街だより」、「ホームページの運用」などの広報活動が現在も続けられている。

個店レベルでは、空き店舗が目立ち、商店街全体での買物の連続性を欠けさせている。営業している店舗についても、経営者の高齢化がみられ、新陳代謝が進んでいない。しかし、少数ではあるが、異業種連携、小売+サービス化などを展開する店舗もみられる。

中込商店街の住民からの支持については、交通手段に自家用車の選択がない地元のお客様を中心に、今後の商店街に寄せる期待が大きいことが読み取れる。

個店レベルに目を移すと、空きテナントを活用することが喫緊の課題あると同時に、現在営業している店舗についても、「品揃えの充実」「イベントや企画」「接客サービス」を上位に課題が浮かび上がっている。

また、ハード面を先行する気質があり、明確な商店街のコンセプトが存在していない状況である。今後は、コンセプトを確立することを最優先に置き、個店は当然として商店街を構成するハード・ソフト両面についても商店街のコンセプトに沿うことが望まれる。

■野沢地区

地域の人々との関係の疎遠化がある。商店街の利用者数の減少と地域の人々との結びつきが弱くなってきているが、その解決策が見出せない状況である。周辺地域への大型店舗の出店のほか、後継者の不在、経営不振などの理由により、他の地域の商店街と同様に、空き店舗が増加する傾向にある。

観光客の商店街への誘客への努力・魅力不足がある。年間約10万人の観光客がびんころ地蔵尊を訪れているが、そのほとんどが駐車場から往復するのみであり、商店街まで足を伸ばす観光客はほとんどいない。

イベントの実施は、平成10年9月に「のざわ山門市」を開催し、以降は毎月第二土曜日に開催している。その後、平成15年10月にびんころ地蔵尊の建立。平成16年12月に「山門茶寮」がオープンし、平成17年12月には参道に仲見世が完成した。そのほか、毎年2月に開催の「びんころ福まき大会」や、昨年10月に初めて開催した「お座敷山門市」などのイベントがある。

商店街のコンセプト（目指す方向）が明確化、共有化されていない。まずは、商店街のコンセプトを明確にして関係者間で共有し、これに沿った施策を実践実行していかねばならない。

顧客なくして事業なし。地域の人々のご利用なくして、商店街の再生はあり得ないが、地域の人々の生活を支える店がほとんどなくなってしまった。そのため、まずは顧客となる地域の人々が喜んで利用していただける店を増やしていかねばならない。

空き店舗をそのまま放置しておく、商店街は衰退の一途を辿ることになる。地域の人々が必要としている交流の場などを創り上げ、積極的に足を運んでいただく機会を創出することが重要である。

(2) 目標（次世代リーダーの育成像）

■人生と経営の志、実践から学ぶ

経営者として、またこれからの経営を担う者として、自身の研鑽と自店の未来を切り開いていく

■“個”のチカラを強化し、商店街全体の魅力アップに繋げる

きらりと光る個店の魅力発信各店の一押し商品やサービス・技などを情報発信し、新たな顧客獲得に繋げる

2. 事業内容（カリキュラム：日時、テーマ、講師、出席者数、実施内容等）

■基本講義～魅力ある商店街への取り組み～ 講師：原田弘子氏（中小企業診断士）

日時	場所	内容
平成25年 8月22日（木）	佐久商工会議所会館	魅力ある商店街について、全国の事例など講演。
9月19日（木）	中込地区 橋場公会堂	ワークショップ
10月17日（木）	岩村田地区 おいでなん処	ワークショップ
11月27日（水）	野沢地区 野沢会館	ワークショップ
12月19日（木）	中込地区 橋場公会堂	ワークショップ
平成26年 1月16日（木）	佐久商工会議所会館	各地区のリーダーより、商店街活性化策定プランを発表

■特別講義～活気ある地方商店街の実践事例～

日時	場所	講師・テーマ
9月10日(火)	中込地区 ホテルナカジマ	講師：加藤 博 氏（青森市新町商店街 振興組合副理事長） テーマ：商店街の活動 一店逸品運動 等 取り組み実践事例
10月2日(水)	岩村田地区 佐久ホテル	講師：竹本 慶三 氏（させぼ四ヶ町商 店街協同組合理事長） テーマ：まちを元気にする～商店街の活動 イベントの開催等取り組み実践 事例～
12月5日(木)	野沢地区 藤村	講師：松井 洋一郎 氏（岡崎まちゼミ の会 代表） テーマ：商店街活性化事業～三方よしのま ちゼミとは～

■視察研修

日時	視察先
11月21日(木) ～22日(金)	富山県 比美町商店街/福光中心商店街/魚津城下商店街 新潟県 三条マルエ実行委員会/十日町商店街

3. まとめ

(1) 目標に対する成果

個店の魅力がなければ、商店街の魅力に繋がっていかない、また逆に商店街の魅力から個店を活かしていく。また、経営者を担う者として、岩村田・中込・野沢各商店街の若手が、商店街を越えて仲間意識を持つことができた。今まで自分の街の中において、他の商店街にあまり目を向けなかったが、今回様々なワークショップを通して、他から見ると「あんなお宝があるのに・・・」などの発見と他の商店街の課題、成果等も共有できた。

(2) 塾生による商店街活性化プラン

■岩村田地区

●コンセプト・基本方針

・いつ誰が来ても楽しめる商店街

「うれしい～」 「あった～」の感動の声が聞こえるよ。「いらっしゃい」がどこでも聞こえる。いいね。朝がすがすがしい。人の笑い声が絶えない。お店にお客様がごった返している。買いたいものがいっぱいある。いつ行ってもワクワクする。何かがいっつも待っている。おいしい喫茶店がある。話したい人がいる。

●解決すべき課題

- ・商店街の取り組みにより、来街者数は増加したが、平常時のお客が増えない。
- ・担ぎ手=欠かせない街づくり要素

●短期事業計画

①魅力ある個店づくり

- ・一店逸品運動など自店に磨きをかけるための学びと活動。後継者育成。後継者がいない場合、継続的に学びと実践ができない店主は選手交代。

②人材育成

- ・後継者が経営者になるための育成。新たに起業したい若者をサポートする起業家育成。
- ・起業後も組織によるサポート体制を構築。地域に点在する若手経営者の研修。チャレンジャーショップでの起業サポート。
- ⇒「やりたい人」の発掘。「やりたい人」の環境づくり。

③イベント

- ・地域が求めるイベントを開催（アンケート回収に基づく地域ニーズ分析）
- ・「やりたい人がやるイベント」 Ex) NPO 団体・青年部・JC 等
- ・組織を超えた人との連携を構築→「自分たちが楽しくなければ楽しいイベントは生まれない」わくわくするイベントを ワクワクする仲間で開催！
- ・夏の夕涼みイベント「呑みっ蔵」、飲み歩きイベント「BAR」、街コン「マッチングパーティー」、お店巡りツアー（街にいったみたい・街が楽しい・きっかけづくり）、お客様のドキドキ・ワクワク・嬉しい・楽しいを醸成できる、主役は、自分たちも楽しむ若者

④コミュニティの担い手として 住み良い街にしていく為に

I 安心・安全

II 子育て・食育

- ・「子育て村」子育て世代の会員制度の拡大…必要な機能をアンケートによる集約。子育て支援ソフト事業の充実・寺子屋塾、鹿島学園高校による教育支援・子育てお助け村（子育て支援施設）

III 高齢者支援

- ・アクティブシニアがわくわくする、エンターテインメントタウン。
（SPA・健康カラオケ・健康体操・高齢者出会いの場・医療と連携した健康チェック機能・「あなたが講師」の様々な特技披露の場・多世代交流の場・昔の遊びの継承・民話の読み聞かせなどなど）
- ・イオンと連携し車を運転することができない高齢者の為の岩村田エリアと中山間地を結ぶコミュニティ巡回バス
- ・アンケートを緻密にとって地域の高齢者が求める機能を有した施設や来街し易い仕組みをつくる

IV 伝統文化の継承

- ・ 祇園祭・初午祭・お盆花市など既存イベントを発展的に継承していく
- ・ 伝統文化の発信、岩村田コンシェルジュの設置
- ・ いわむらだこてさんね館（仮称）の設置…街に眠る歴史的価値のあるお宝の常設、
高齢者による伝統的技術の伝承（お囃子・おにかけうどん）

●長期事業計画

<コンパクトシティ計画>

・ 必要な機能を必要な人に必要なだけ供給するためのハードの整備、歩いて楽しく買い物と楽しみ・遊びが味わえる街。

●到達点

- ・ 神輿＝理想の商店街 岩村田神輿理論

人・モノ・組織・夢・そろばん、それらが揃う畑をやる気のある若者で耕していく。耕していくためには収穫物という同じ夢を共有すること。同じ夢を共有するには同じ学びを重ねていく。だから人材育成が必要であり地道に学ぶ努力をしていく。

■中込地区

●コンセプト・基本方針

- ・ お店・お客様・地域住民みんなが、元気で長生きできるように、健康づくりを手助けする商店街を目指します。
- ・ 健康・元気・長寿をキーワードにさまざまなイベントや、サービスを提供していく。

●解決すべき課題

①大家さんとの目的共有や意志疎通②組合員の意識改革や協力体制づくり③役員理事の負担軽減

●短期事業計画

1・2年目

- ・ 既に行っている『街ゼミ』を活かし、健康づくりのゼミを増やしていく。
 - ・ くろさわ病院の行っているポールウォーキングや健康相談などを街ゼミに取り込む。また、連携しスポーツ施設などを活用していく。
 - ・ 元気になる逸品づくり、健康付加価値のPR（健康グッズや健康メニューなど）
 - ・ 空き店舗情報の集約と発信。
 - ・ 野沢商店街や佐久市健康づくり推進課等と連携を図る。ぴんころ地蔵参拝者の誘致。
- 到達点 街ゼミ参加店の増加。

●長期事業計画

3年目

- ・ くろさわ病院移転に伴い、さらなる連携を図る。
- ・ 行ってきたイベント・サービスの見直しと向上を図る。

到達点 元気になる逸品、参加50店を目指す

5年目

- みんなが健康でいること。
- 健康を求めて商店街に人が集まり、来た人が元気になっていくこと。
- 健康志向のお客様があつまることで、それをターゲットにした新規出店者の誘致。

到達点 ひとつでも空き店舗を減らす。中込は健康づくりの街だねと認められる。

■野沢地区

●コンセプト・基本方針

日本一健康長寿幸福の街

1. ぴんころ地蔵のブランド化、2. 山門市の活用と活性化、3. 商店街組合の基盤強化

●解決すべき課題

1. 商標権・オリジナルグッズ・販売方法、2. 野沢の商店がほとんど出展していない。商店同士の連携が弱い。品揃え(生鮮産品がない)・バラ公園の活用、3. 人材不足、会費、事務局がない

●短期事業計画

1年目 ぴんころ地蔵商標権、事業計画書を作る(ぴんころダルマ・インターネット販売等)、夜の山門市開催

2年目 街中マルシェ、ぴんころダルマ販売・インターネット販売、回遊看板製作

●長期事業計画

3年目 会費を上げる、事務局を立ち上げる、山門市でのチャレンジショップ

5年目 空き店舗対策

●到達点

1年後 商標権・夜の山門市開催、3年後 会費を上げる・インターネット販売確立

5年後 事務局の運営(人材育成)

(3) 新たな課題とその対策について

今回の事業で目的の一步を踏み出すことができ、若手のつながりで今まで別々に活動していた3商店街が、情報交流などの面で広がってきた。

今後は若手が目指すビジョンを、各商店街の中で実行に移していきますが、その夢の実現に向けては、まだ乗り越えていくべきハードルが沢山あると思います。

(4) 今後の活動の展開

今の商店街の現状はどちらも、早く改革を始めていかなければ、どんどん取り残され再生できなくなる危機感もあります。スピードが命です。

各商店街ビジョンをより早く実施に移す為には、今後も多くの学びが必要であります。その為にも、各商店街内で更なる協議をし、各方面のご支援ご協力を得ながら具体的な取り組みに、当所としても協力していかねばならない。

びんごろ地蔵活用・起業支援 佐久の商店街 活性化案発表

商議所が「商人塾」



を発表。野沢地区ののさわ商店街振興組合は、健康長寿と大往生を祈る先として有名な地元のびんごろ地蔵活用を挙げた。

佐久商工会議所の商店街元気再生委員会(中村芳生委員長)による「TTEJ商人塾」事業。佐久経営者みらい塾P art 2」は16日夜、佐久市中込の同商議所会館で開き、写真、全日程を終えた。岩村田、中込、野沢地区それぞれ商店街連合組織が活性化案を提案した理由、進め方などを発表。のさわ商店街振興組合は「組合が登録した『びんごろ地蔵』の商標をブランド化し、オリジナル商品を組合全体で開発したい」とした。中込商店会協同組合は健康をキーワードにした商品作り、岩村田連合商店会は若手起業家支援で商店街を若返らせる戦略を挙げた。

塾は2012年度に続き2回目。本年度は昨年8月に始まり、商店主約20人が参加した。講師から魅力的な商店街をつくる方策などを聞き、活性化案を話し合ってきた。

平成25年度 THE 商人塾！事業

委託元：株式会社全国商店街支援センター

〒104-0043

住所：東京都中央区湊1-6-11 八丁堀エスワンビル4階

TEL：03-6228-3061

委託先：佐久商工会議所

〒385-0051

住所：長野県佐久市中込2976-4

TEL：0267-62-2520